

第1学年2組 道徳指導案

- 1 主題名 郷土を愛する態度〔内容項目C－(16)：郷土愛〕 (1時間完了)
〈資料名 「都築弥厚」 出典：安城市教育委員会 (授業者 一部改作)〉

2 ねらい

郷土の発展に尽くした先人の理念やそれに基づいた行動を理解することを通して、尊敬と感謝の気持ちを持ち、地域社会の一員としての自覚と郷土を愛する心情を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

わたしたちは地域社会の中で生活している。この地域社会は、多くの先人の努力や労苦により現在に至ったといえる。

したがって、先人の労苦をしのび、その努力に対し、感謝の気持ちや尊敬の念を育てることが大切である。このことが地域社会の一員としての自覚をもつことにつながるだろう。そこで、先人のように、郷土の発展に尽くそうとする気持ちをもてるようにし、さらに、高められるようにしていきたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

「道徳に関するアンケート」の「社会に尽くした先人や高齢者に対して、尊敬することができる。」という質問に対し、本校生徒は、「そう思う」が約36%、「どちらかというと思う」が約44%で、約8割の生徒が社会に尽くした先人を尊敬できると考えていることがわかった。これは学級でもほぼ同じ結果になっている。

一方で、学級の生徒に「社会に尽くした先人のように、地域のために何かやったことがあるか。」と聞いてみると、取り組んだ経験のある生徒は少ない。取り組んだ生徒も、小学校時代の学校・学年行事として行ったくらいで、機会を自分からとらえてすすんで参加したという生徒はほとんどいなかった。

そこで、郷土の偉人 都築弥厚の生き方を理解することを通して、将来を見据えた理念をもって苦難に立ち向かう姿に感動を覚えさせる。そして、感謝の気持ちや尊敬の念を抱かせ、地域社会の一員であるという自覚をもたせる。その上で、郷土を愛し、地域社会に生きる一員として郷土の発展に尽くしたいという道徳的心情を高めたい。

(2) 抽出生徒について

① 抽出生徒Aについて

代議員や歌声集会実行委員に立候補し、学級、学年のために意欲的に活動している。しかし、学校が紹介するボランティアについては、面倒に感じたり、地味な内容だからどうせ評価されないだろうと考えたりして、参加しようとならない。そこで、地域社会に尽くした先人に感謝の気持ちや尊敬の念を抱かせることで、地域社会の一員であるという自覚をもてるようにする。そして、地域のためのボランティア活動に積極的に参加しようという意欲をもってほしいと考えている。

② 抽出生徒Bについて

普段の学校生活では、係・委員会活動に意欲的に取り組んでいる。しかし、自分に与えられた役割については責任をもって行いが、自分でやった方がよいと考えてすすんで行動することはほとんどない。また、将来、地元で働く父親と同じように医者になりたいと考えている。そこで、将来の

夢をかなえるだけでなく、地域社会のためにも活動し、安城の発展に貢献したいという気持ちをもってほしいと考えている。

5 資料について

(1) 資料の概要

都築弥厚は安城の偉人である。

弥厚は小さい頃から、水がない安城が原に水をひいて、水をめぐる争いをなくしたいと考えていた。しかし、それには、幕府の許可とたくさんのお金が必要だった。

大人になったが、状況が変わらないので、弥厚はいつそう用水をつくりたいと思うようになった。そこで、用水をつくるために、周囲の説得を始めた。父や、測量をする石川喜平、安城が原の人々に用水の必要性を訴え、説得を続けた。「どれだけ反対されようとも、きっとみんなわかるはずだ」と思い、何年もかけてねばり強く説得してまわった。

そして、やっと幕府に用水の許可を願い出るようになった。しかし、反対は多く、幕府から許可を得るにも時間がかかった。また、許可を得られたのは一部でしかなかった。このようなときに、弥厚は志半ばでたくさんの借金を残して亡くなった。

その後、その遺志を受け継いだ人たちにより、用水が完成した。弥厚が生まれてから百年以上経っていた。そして、この用水のおかげで、のちに安城が原が「日本デンマーク」と呼ばれる大農業地帯へと成長した。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

弥厚がなぜ用水が必要だと考えたのかをおさえる。そして、多くの人に反対されても説得を続けたり、たくさんの借金をしたりしてまで用水づくりを行おうとしたことで、弥厚の強い理念に気づかせる。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

中心発問に対して、多くの生徒が「すごい」「尊敬する」という感想をもつであろう。しかし、何をもって「すごい」「尊敬する」のかというと、多様な答えが出てくる。それを意識させることにより、行動評価と理念評価の違いに目を向けさせ、その確固たる理念こそがすべての行動の基盤であることに気づかせる。また、現在の安城の発展ぶりを弥厚の目で考えさせることにより、バックキャストの考えの大切さにふれさせる。

6 板書計画（20ページ参照）

7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">都築弥厚はどんな人だろう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">明治用水をつくろうと努力した人。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">生誕250年の人。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">安城出身の有名な人。</div> </div> <p>○資料の範読を聞く。</p>	<p>※都築弥厚について知っていることを発表することで、小学校時代に学習したことを思い出せるようにする。</p>

10

自分の土地でもないのに用水をつくらうとした弥厚を、あなたはと思うか。

○相互指名で話し合う。

自分は裕福なのに用水をつくらうとしてすごい。

借金がたくさん残ったのにつくってすごい。

反対されてもあきらめないところがすごい。

どうしてそんなことするのか。面倒なのに、馬鹿らしい。(①)

自分には真似できない(②)

安城の将来を考えて行動している。(③)

※何をもって「すごい」「尊敬する」のかを問い返すことで、多様な答えが出るようにする。

※弥厚に対する批判的な意見は全体に問いかけ、弥厚の行動が理念に基づいた行動であることを確認する。(①

D : 断ち切る)

※抽出生徒Aに「自分には真似できない」という意見の理由を考えさせることで、弥厚に対する尊敬の念をもてるようにする。(②**B : 生かす)**

☆弥厚の行動が将来を見据えた行動であったことを理解することができたか。

(発言、ワークシート)

※理念に基づいた行動あるという意見を取り上げることで、弥厚の偉大さに気づけるようにする。(③**C : 気づかせる)**

30

今の安城を見て、弥厚なら何と言うだろう。

○相互指名で話し合う。

争いのない生活ができてよかった。

反対されてもがんばってやってよかった。

今もつかってくれていてうれしい。

自分のやったことはまちがってなかった。(④)

みんなが幸せに暮らしている。(⑤)

自分の思いが伝わってよかった。

※日本デンマークと言われるほどの水田が広がっている様子を写真で示すことで、安城が大農業地帯になっていることを確認できるようにする。

※「自分のやったことはまちがっていなかった」という意見を取り上げ、その理由を考えることで、弥厚の行動は安城の発展に大きく役立ったことをおさえる。(④**C : 気づかせる)**

※現在の安城の人々の生活が豊かになったという意見を取り上げることで、弥厚の行動が確固たる信念に基づいたものであったことをお

45	<p>○振り返りをする。</p> <p>弥厚のすばらしいところは、将来を見据えた行動をしていたところである。弥厚のような行動をすぐにとることはできないが、今できることから少しずつ行い、将来の安城の発展に貢献したい。(⑥)</p> <p>弥厚の信念に基づいた行動力のすばらしさに感動を覚え、地域社会の一員として自覚し、郷土を愛する心情を高める姿。</p>	<p>さえる。(⑤C:気づかせる)</p> <p>※抽出生徒Bに地域社会のためにできることを問いかけることで、安城の発展のために自分ができることを意識できるようにする。(⑥</p> <p>B:生かす)</p> <p>☆弥厚の努力を知り、尊敬と感謝の気持ちを持ち、地域社会の一員としての自覚と郷土を愛する心情を高めることができたか。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>
----	--	---

授業の視点

- ① 発問は、弥厚の生き方を理解し、将来を見据えて理念をもって苦難に立ち向かう姿を理解するために適切なものであったか。
- ② ②B、③C、④C、⑤Bにおける教師の出(取り上げ、おさえ、意図的指名)は、生徒の考えを広げたり、つないだりして、本時の目指す生徒の姿を具現化する上で有効であったか。

板書計画

